

令和 6 (2024) 年度 特別推進研究 審査結果の所見

研 究 課 題 名	究極のすばる望遠鏡へ：広視野補償光学による近赤外深探査で解明する銀河宇宙史
研 究 代 表 者	児玉 忠恭（東北大学・理学研究科・教授）
審査結果の所見	【学術的意義、期待される成果】 すばる望遠鏡の強みである広視野補償光学と狭帯域フィルターを駆使して、高赤方偏移銀河を現在稼働中の望遠鏡の 4 倍の広視野で観測できる、新しい近赤外広視野カメラを開発する先進的な研究である。本開発により、ビッグバンから約10～数十億年という初期段階における銀河形成・進化に関する新たな知見が得られ、宇宙論や銀河形成論の精度向上に重要な貢献をすることが期待される。また、近い将来の30mクラスの望遠鏡による狭視野観測とは相補的な役割を果たすことができ、長期にわたって広視野観測モードの優位性を維持し、初期宇宙の赤外線観測において世界をリードする成果創出が期待できる。